

# 黙っていたら国保料が2年ごとに連続値上げ

1月7日、「船橋国保を良くする会」が市に国民健康保

険料の値下げや減免制度の実施などを求めている。

船橋市では「行財政改革」の名目で2018年度に保険料（均等割）を年額1500

円、2020年度には3000円値上げ。さらに来年度また値上げを実施し、2030年度まで1年おきに連続値上げを計画しています。

いまでも保険料が高すぎるため、国保に加入している約8万世帯のうち、保険料を払えていない世帯が1万1000世帯にも上っています。保険料が値上げされれば、さらに払えない世帯が増えるのは明らかです。

この日の要請では参加者から、「払えるのに払わない人はごくわずかで、大多数は払いたくても払えない人たちだ。そこをちゃんと掌握すべきだ」「新型コロナで生活が極端に



船橋市の担当者に要望書を手渡す「国保を良くする会」の参加者。11月7日・船橋市役所

## 縮まらない男女の賃金格差

男女の賃金格差について国の統計では、男性を100とした場合の女性の賃金水準は、勤続「1～2年」で84・2ですが、年数を経るごとに低下（上のグラフ）。勤続「10～14年」で77・4まで落ち込み、以降も7割台にとどまっています（基本給と諸手当のみで残業代や賞与は除く）。

役職別では、「係長」で88・4、「課長」で88・8。「部長」では86・5と差が拡大。管理職の女性比率は課長級で12・1%、部長級で9・1%と、登用される女性が圧倒的に少ない中で、役職に就いたとしてもなお格差があり、広がるのが実態です。

企業ごとに賃金格差の実態を透明化し、格差の理由を明らかにして、一刻も早く解消する必要があります。



下総中山駅南口の階段を調査する中山支部や地域のみなさんと丸山慎一前議員（右）松崎智市議員（左）。11月5日・下総中山駅南口

## 下総中山駅南口のバリアフリーへ 日本共産党中山支部が現地調査

1月5日、JR総武線・下総中山駅南口のバリアフリーについて、日本共産党中山支部が現地を調査しま

した。南口は階段が6段あって、ベビーカーや車椅子、足の悪い方などに大きな障害になっています。

北口は段差の無い構造ですが、南口から行くには、遠く離れた抜け道を通って迂回しなければならなかった。南口そのもののバリアフリー化が求められていました。

日本共産党はこれまでも繰り返し、JR東日本や船橋市など関係各所に要請するなど、取り組みを進めてきましたが、構造上の難点

もありこれまで解決できていませんでした。しかし、周辺に新しい住宅が出来たり、高齢化が進むなかで避けて通れない課題となっています。そこでこの日、中山支部が地域住民とともにあらためて現地を調査。市の職員にも出向いてもらって、これまでの経過や市の補助制度などについて話を聞きました。

今後、JRへの要請なども行い、エレベーターの設置などでバリアフリー化に取り組んでいく予定です。

## 成人式の日



成人式にお祝いのメッセージを送る（左から）佐川長・神子・丸山慎一・さいとう和子・坂井洋介・椎葉寿幸・金光理恵の各氏。11月10日・船橋日大前駅

1月10日、船橋市の成人式が行われました。昨年はコロナ感染の拡大で開催されず、2年ぶりとなりました。会場の最寄り駅で「おめでとうビラ」や気候変動、ジェンダー平等のリーフレットを配布。シール投票にも取り組みました。関心が高かったのは「給料を上げて」「ジェンダー差別をなくしたい」でした。